

第4期

運用報告書(全体版)

ブラジル国債ファンド

【2025年6月16日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「ブラジル国債ファンド」は、2025年6月16日に第4期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1
ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300（受付時間：営業日の9:00～17:00）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年6月15日から2045年6月14日までです。	
運用方針	ブラジル国債マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、ブラジルリアル建のブラジル国債に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。また、ブラジルリアル建の国際機関債、ブラジル国債に準ずる債券へ投資を行う場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ブラジル国債マザーファンド	ブラジル国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	ブラジル国債マザーファンド	外貨建資産の投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年6月14日および12月14日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。	

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged 〔 円 換 算 後 〕		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰 落 中 率			
(設定日)	円			円	%			百万円
2023年6月15日	10,000			—	—	34,532.683	—	50
1期(2023年12月14日)	10,393			0	3.9	36,687.591	6.2	96.1
2期(2024年6月14日)	10,465			0	0.7	37,578.439	2.4	97.4
3期(2024年12月16日)	8,892			0	△15.0	32,526.067	△13.4	96.6
4期(2025年6月16日)	9,579			0	7.7	36,363.940	11.8	95.9

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。
(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。
(注) JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged 〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。
JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged 〔円換算後〕は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しております。(以下同じ。)
(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。
(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

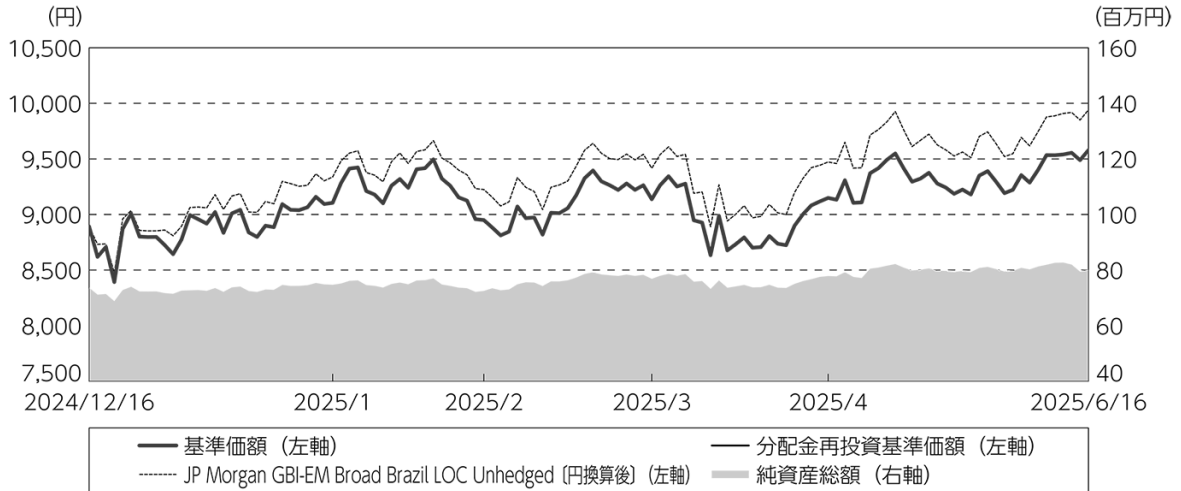
年 月 日	基 準 価 額			JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged 〔 円 換 算 後 〕		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		(参考指数)	騰 落 率		
(期 首)	円	%		ポイント	%		%
2024年12月16日	8,892	—		32,526.067	—	96.6	—
12月末	8,643	△2.8		32,221.419	△0.9	96.7	—
2025年1月末	9,105	2.4		34,157.117	5.0	93.3	—
2月末	8,950	0.7		33,742.988	3.7	94.6	—
3月末	9,137	2.8		34,441.986	5.9	97.2	—
4月末	9,149	2.9		34,648.581	6.5	94.3	—
5月末	9,295	4.5		35,250.571	8.4	92.8	—
(期 末)							
2025年6月16日	9,579	7.7		36,363.940	11.8	95.9	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年12月17日～2025年6月16日)



期 首：8,892円

期 末：9,579円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 7.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged (円換算後)です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2024年12月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ブラジル国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ブラジルレアル(以下、レアル)建ての国債と国際機関債への投資により、安定的な利息収入を獲得したことがプラスとなりました。
- ・保有債券の利回りが低下し価格が上昇したことがプラスとなりました。
- ・レアルが対円で上昇したことがプラスとなりました。

(主なマイナス要因)

- ・特にありません。

投資環境

(2024年12月17日～2025年6月16日)

<債券市場>

ブラジル債券市場では、ブラジル中央銀行（ＢＣＢ）が利上げを継続したものの、好調だった国内の家計消費に鈍化の兆しが見え始めたことなどを背景に、利上げサイクルが最終局面に近づいているとの見方が徐々に強まりました。このため、期末にかけては短期債を中心に利回りが低下（価格は上昇）しました。

<為替市場>

為替市場では、ＢＣＢが大規模なレアル買い・米ドル売り介入を実施し、一段のレアル安を回避する姿勢を鮮明にしたことを受け、レアルが対円で堅調なスタートとなりました。その後、トランプ政権による関税政策への強硬姿勢が嫌気され、米ドル／円の下落に連動してレアルも対円で軟化する場面が見られました。しかし期末にかけては、世界的に株価が堅調に推移するなか、投資家のリスク選好姿勢が強まり、レアルが底堅く推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年12月17日～2025年6月16日)

<ブラジル国債ファンド>

「ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を高位に維持しました。

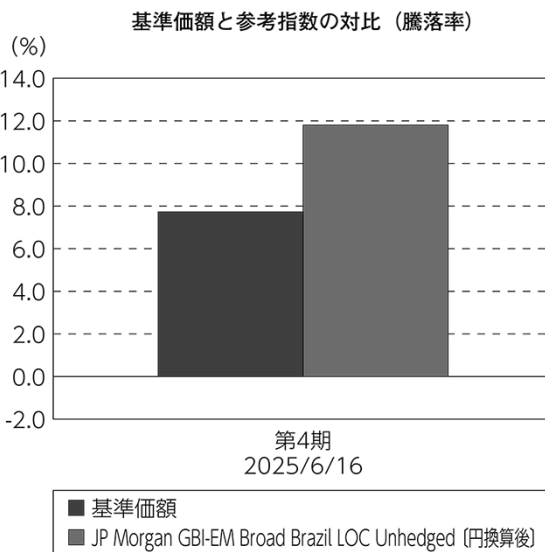
○ブラジル国債マザーファンド

ファンドへの投資資金の流入に対応し、ポートフォリオの調整を行うとともに、債券の組入比率を高位に維持しました。また、2025年4月にはファンドからの資金が流出する際の対応力を高めるため、保有していたブラジル国債を一部売却し、レアル建ての国際機関債に入れ替えました。期末時点のポートフォリオは、残存期間が短い割引国債2銘柄と国際機関債1銘柄、残存期間が長い固定利付国債2銘柄で構成されており、保有債券の平均利回りは14.05%、平均残存年数は3.34年となりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年12月17日～2025年6月16日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged〔円換算後〕です。

分配金

(2024年12月17日～2025年6月16日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第4期
	2024年12月17日～ 2025年6月16日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,317

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

ブラジル債券市場では、ＢＣＢが2025年５月にインフレ見通しを下方修正したことを受け、利上げサイクルの終了が近いとの見方が強まっています。さらに、トランプ政権の関税政策がグローバル経済全般の下押し要因として警戒されるなか、米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）による利下げ再開も視野に入りつつあり、今後も相対的に利回り水準の高いブラジル債券市場には投資資金の流入が継続し、利回り低下が進む可能性が高いと判断しています。

為替市場では、「米国例外主義」の終焉をテーマとした「ドル離れ」への懸念が浮上していますが、緩やかな米ドル安はむしろブラジルを含む新興国の経済および通貨を下支えする要因になると考えられます。また、日銀は利上げ路線を維持する一方、先行き不透明感を踏まえ、当面は追加利上げに慎重な姿勢を続けると予想されることから、レアルは対円で底堅く推移する展開が想定されます。

（運用方針）

＜ブラジル国債ファンド＞

主要投資対象である「ブラジル国債マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ブラジル国債マザーファンド

運用にあたっては、ブラジルの金利環境、景気動向、政治情勢、財政状況や、海外情勢等を基にポートフォリオを構築します。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年12月17日～2025年 6 月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 21	% 0.233	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(12)	(0.137)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(7)	(0.082)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	10	0.106	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(8)	(0.092)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.008)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	31	0.339	
期中の平均基準価額は、9,046円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

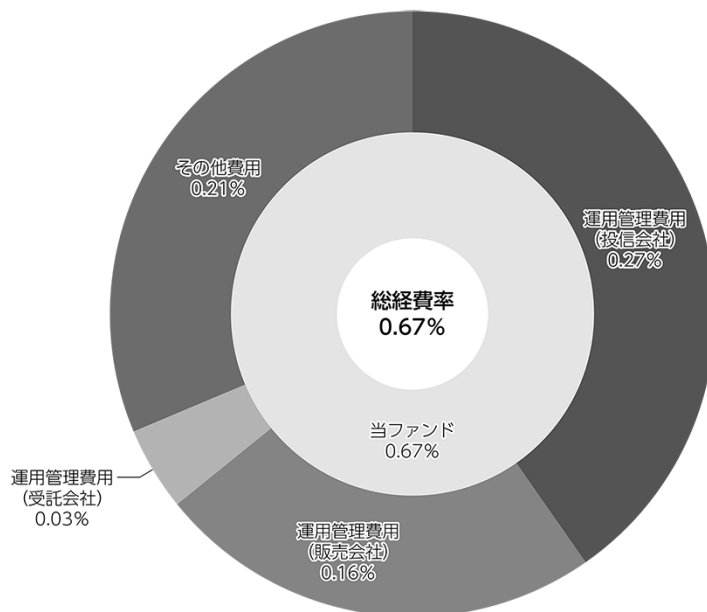
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.67%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年12月17日～2025年 6 月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ブラジル国債マザーファンド	千口 9,705	千円 8,810	千口 9,087	千円 8,365

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年12月17日～2025年 6 月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年12月17日～2025年 6 月16日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 50	百万円 —	百万円 —	百万円 50	当初設定時における取得

(注) 単位未満は切捨て。

○組入資産の明細

(2025年 6 月16日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ブラジル国債マザーファンド	千口 82,289	千口 82,907	千円 79,674

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年6月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ブラジル国債マザーファンド	千円 79,674	% 95.7
コール・ローン等、その他	3,546	4.3
投資信託財産総額	83,220	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ブラジル国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（77,569千円）の投資信託財産総額（79,672千円）に対する比率は97.4%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1ブラジルレアル=26.0485円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	83,220,496
コール・ローン等	3,546,130
ブラジル国債マザーファンド(評価額)	79,674,325
未収利息	41
(B) 負債	3,043,014
未払解約金	2,860,846
未払信託報酬	177,218
その他未払費用	4,950
(C) 純資産総額(A－B)	80,177,482
元本	83,704,886
次期繰越損益金	△ 3,527,404
(D) 受益権総口数	83,704,886口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,579円

- (注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は3,527,404円です。
- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9579円です。
- (注) 当ファンドの期首元本額は82,817,006円、期中追加設定元本額は13,073,237円、期中一部解約元本額は12,185,357円です。

○損益の状況 (2024年12月17日～2025年6月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,146
受取利息	1,146
(B) 有価証券売買損益	5,682,466
売買益	6,088,304
売買損	△ 405,838
(C) 信託報酬等	△ 182,168
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	5,501,444
(E) 前期繰越損益金	△10,247,890
(F) 追加信託差損益金	1,219,042
(配当等相当額)	(2,678,512)
(売買損益相当額)	(△ 1,459,470)
(G) 計(D＋E＋F)	△ 3,527,404
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	△ 3,527,404
追加信託差損益金	1,219,042
(配当等相当額)	(2,750,113)
(売買損益相当額)	(△ 1,531,071)
分配準備積立金	8,281,240
繰越損益金	△13,027,686

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 収益分配金

決算期	第4期
(a) 配当等収益(費用控除後)	3,266,267円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	2,750,113円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	5,014,973円
分配対象収益(a＋b＋c＋d)	11,031,353円
分配対象収益(1万口当たり)	1,317円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

〈お知らせ〉

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2025年4月1日)
- 2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

ブラジル国債マザーファンド
第2期 運用状況のご報告
決算日：2025年6月16日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	ブラジルレアル建のブラジル国債に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。また、ブラジルレアル建の国際機関債、ブラジル国債に準ずる債券へ投資を行う場合があります。
主要投資対象	ブラジル国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建資産の投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged 〔円換算後〕 (参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
(設定日) 2023年6月15日	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
	10,000	—	34,532.683	—	—	—	49
1期(2024年6月14日)	10,465	4.7	37,578.439	8.8	98.1	—	102
2期(2025年6月16日)	9,610	△8.2	36,363.940	△3.2	96.5	—	79

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged 〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged 〔円換算後〕は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて当社が算出しています。（以下同じ。）

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

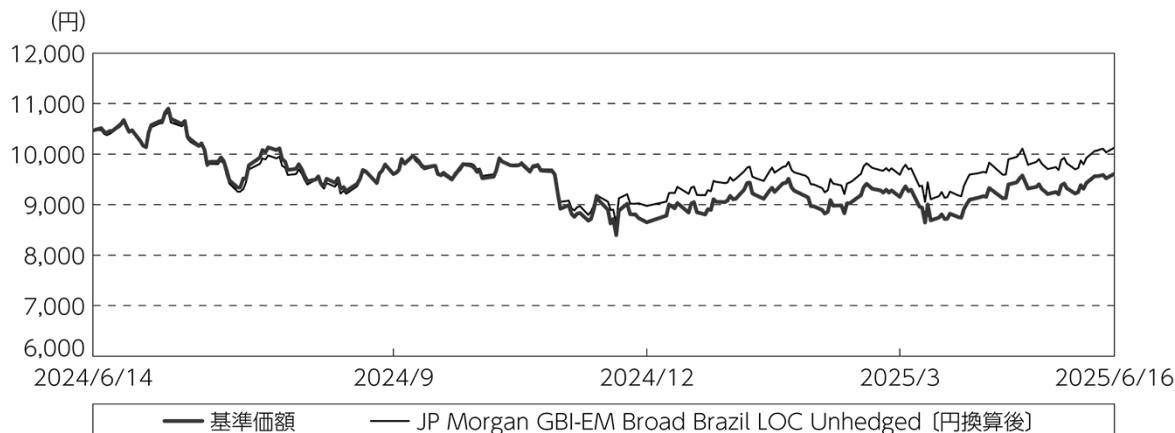
年 月 日	基 準 価 額		JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged [円 換 算 後] (参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2024年 6 月14日	円 10,465	% —	ポイント 37,578.439	% —	% 98.1	% —
6 月末	10,470	0.0	37,601.239	0.1	93.3	—
7 月末	9,866	△ 5.7	35,195.625	△ 6.3	96.0	—
8 月末	9,467	△ 9.5	33,747.962	△10.2	97.9	—
9 月末	9,607	△ 8.2	34,420.710	△ 8.4	97.2	—
10月末	9,677	△ 7.5	34,884.022	△ 7.2	98.0	—
11月末	8,921	△14.8	32,512.795	△13.5	98.7	—
12月末	8,651	△17.3	32,221.419	△14.3	97.2	—
2025年 1 月末	9,118	△12.9	34,157.117	△ 9.1	93.8	—
2 月末	8,964	△14.3	33,742.988	△10.2	95.0	—
3 月末	9,153	△12.5	34,441.986	△ 8.3	97.7	—
4 月末	9,168	△12.4	34,648.581	△ 7.8	94.8	—
5 月末	9,323	△10.9	35,250.571	△ 6.2	93.5	—
(期 末) 2025年 6 月16日	9,610	△ 8.2	36,363.940	△ 3.2	96.5	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年6月15日～2025年6月16日)



(注) 参考指数は、JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged [円換算後] です。
 (注) 参考指数は、期首(2024年6月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ブラジルレアル(以下、レアル)建ての国債と国際機関債への投資により、安定的な利息収入を獲得したことがプラスとなりました。

(主なマイナス要因)

- ・保有債券の利回りが上昇し価格が下落したことがマイナスとなりました。
- ・レアルが対円で下落したことがマイナスとなりました。

なお、保有債券の利回りが上昇し価格が下落したことは、基準価額の下落要因となりましたが、利息収入獲得によるプラス効果の方が大きく、債券要因全体では基準価額にプラスとなりました。

投資環境

(2024年6月15日～2025年6月16日)

<債券市場>

ブラジル債券市場では、ブラジル中央銀行(BCB)が大幅な利上げを実施したことに加え、政府の財政健全化への取り組みに対する懐疑的な見方が広がったことを背景に、2024年12月末にかけて急速に利回りが上昇(価格は下落)しました。2025年に入ってもBCBは利上げを継続しましたが、好調だった家計消費に鈍化の兆しが見え始めたことなどを受け、利上げサイクルが最終局面に近づいているとの見方が徐々に強まりました。このため、期末にかけては短期債を中心に利回りの上昇幅が縮小(価格は上昇)しました。

＜為替市場＞

為替市場では、2024年7月中旬から8月初めにかけて円売りポジションの解消が加速し、レアルが対円で急落しました。その後は方向感の乏しい展開が続きましたが、ブラジル政府の財政政策に対する懸念が高まるなか、12月には再びレアルが下値を試す場面が見られました。こうした中、ＢＣＢが大規模なレアル買い・米ドル売り介入を実施し、一段のレアル安回避に向けた強い姿勢を示したことで、レアルは対円で反発しました。2025年に入ると、トランプ政権の関税政策に対する強硬姿勢が嫌気され、米ドル／円の下落に連動してレアルも対円で軟化する場面がありましたが、期末にかけては投資家のリスク選好が強まるなか、レアルが底堅く推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年6月15日～2025年6月16日)

ファンドへの投資資金の流入に対応し、ポートフォリオの調整を行うとともに、債券の組入比率を高位に維持しました。また、2025年4月にはファンドからの資金が流出する際の対応力を高めるため、保有していたブラジル国債を一部売却し、レアル建ての国際機関債に入れ替えました。期末時点のポートフォリオは、残存期間が短い割引国債2銘柄と国際機関債1銘柄、残存期間が長い固定利付国債2銘柄で構成されており、保有債券の平均利回りは14.05%、平均残存年数は3.34年となりました。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

ブラジル債券市場では、ＢＣＢが2025年5月にインフレ見通しを下方修正したことを受け、利上げサイクルの終了が近いとの見方が強まっています。さらに、トランプ政権の関税政策がグローバル経済全般の下押し要因として警戒されるなか、米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）による利下げ再開も視野に入りつつあり、今後も相対的に利回り水準の高いブラジル債券市場には投資資金の流入が継続し、利回り低下が進む可能性が高いと判断しています。

為替市場では、「米国例外主義」の終焉をテーマとした「ドル離れ」への懸念が浮上していますが、緩やかな米ドル安はむしろブラジルを含む新興国の経済および通貨を下支えする要因になると考えられます。また、日銀は利上げ路線を維持する一方、先行き不透明感を踏まえ、当面は追加利上げに慎重な姿勢を続けると予想されることから、レアルは対円で底堅く推移する展開が想定されます。

(運用方針)

運用にあたっては、ブラジルの金利環境、景気動向、政治情勢、財政状況や、海外情勢等を基にポートフォリオを構築します。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 6 月15日～2025年 6 月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 31	% 0.329	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(30)	(0.321)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(1)	(0.007)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	31	0.329	
期中の平均基準価額は、9,365円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年 6 月15日～2025年 6 月16日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル		千ブラジルレアル	千ブラジルレアル
		国債証券	1,001	1,665 (900)
		特殊債券	1,227	—

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年 6 月15日～2025年 6 月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年6月16日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	3,200	2,952	76,896	96.5	96.5	37.0	—	59.5
合 計	3,200	2,952	76,896	96.5	96.5	37.0	—	59.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル			%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
国債証券	BRAZIL NTN-F 10		10.0	500	452	11,793	2031/1/1
	BRAZIL NTN-F 10		10.0	800	679	17,703	2035/1/1
	BRAZIL-LTN 0		—	400	397	10,362	2025/7/1
	BRAZIL-LTN 0		—	200	185	4,825	2026/1/1
	特殊債券 (除く金融債)	INT BK RECON&DEV 5		5.0	1,300	1,236	32,212
合 計						76,896	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年6月16日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 76,896	% 96.5
コール・ローン等、その他	2,776	3.5
投資信託財産総額	79,672	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(77,569千円)の投資信託財産総額(79,672千円)に対する比率は97.4%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1ブラジルレアル=26.0485円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	79,672,914
コール・ローン等	2,103,810
公社債(評価額)	76,896,461
未収利息	278,347
前払費用	394,296
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A－B)	79,672,914
元本	82,907,727
次期繰越損益金	△ 3,234,813
(D) 受益権総口数	82,907,727口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,610円

- (注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は3,234,813円です。
- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9610円です。
- (注) 当ファンドの期首元本額は97,793,799円、期中追加設定元本額は13,998,655円、期中一部解約元本額は28,884,727円です。
- (注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
- ブラジル国債ファンド 82,907,727円

○損益の状況 (2024年6月15日～2025年6月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	6,577,811
受取利息	6,577,811
(B) 有価証券売買損益	△14,459,534
売買益	2,353,771
売買損	△16,813,305
(C) その他費用等	△ 264,873
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 8,146,596
(E) 前期繰越損益金	4,545,617
(F) 追加信託差損益金	△ 989,126
(G) 解約差損益金	1,355,292
(H) 計(D＋E＋F＋G)	△ 3,234,813
次期繰越損益金(H)	△ 3,234,813

- (注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2025年4月1日)